



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 FCM株式会社

コード番号 5758 URL <http://www.fc-m.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市居 律雄

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 丸山 仁

TEL 06-6975-1324

四半期報告書提出予定日 平成28年11月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	8,632	△21.1	101	△80.0	98	△80.6	64	△80.8
28年3月期第2四半期	10,938	11.7	507	99.1	506	77.5	337	96.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	38.02	—
28年3月期第2四半期	198.12	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	9,892	3,964	40.1	2,327.20
28年3月期	9,667	4,039	41.8	2,371.26

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 3,964百万円 28年3月期 4,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	79.00	79.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,422	△15.4	263	△61.2	256	△62.6	170	△62.0	99.78

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	1,704,267 株	28年3月期	1,704,267 株
29年3月期2Q	534 株	28年3月期	534 株
29年3月期2Q	1,703,733 株	28年3月期2Q	1,703,756 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は売上高8,632,833千円(前年同期比21.1%減)、営業利益101,624千円(前年同期比80.0%減)、経常利益98,196千円(前年同期比80.6%減)、四半期純利益64,767千円(前年同期比80.8%減)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

(電子機能材事業)

電子機器や電子部品に使用されている材料・部品の表面処理加工を主とする電子機能材事業では、売上高は3,037,684千円(前年同期比7.9%減)となりました。民生関連ではスマートフォン・タブレット端末向けのコネクタ・端子類の旺盛な需要が落ち着くと同時に、製品規格や品質に対する要求が厳しくなっています。当該セグメントでは、生産技術や品質管理に対する投資・支出を積極的に行って課題解決に対応しています。その他の分野では医療機器向けが大きく計画を上回り、パワーエレクトロニクス関連や自動車部品向けは計画通りの推移となりました。その結果、当該セグメントの経常利益は46,553千円(前年同期比88.1%減)となりました。

(電気機能線材事業)

電線・配線用ケーブル・通信用ケーブルなどの伸線加工を主とする電気機能線材事業では、売上高は5,595,149千円(前年同期比26.8%減)となりました。国内銅建値が前年同期に比べて3割近く低い水準で推移していることに加え、当セグメントの主力である建設・電販向けを中心に通信線・汎用線などの稼働が伸び悩んでいます。非電線分野で新規案件が徐々に拡大し始めていますが利益への寄与は限定的で、当該セグメントの経常利益は51,643千円(前年同期比54.8%減)となりました。

売上高

単位(千円)

	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	3,298,008	30.2%	3,037,684	35.2%	△7.9%
電気機能線材事業	7,640,114	69.8%	5,595,149	64.8%	△26.8%
合計	10,938,122	100.0%	8,632,833	100.0%	△21.1%

加工売上高

単位(千円)

	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	1,666,265	74.4%	1,514,867	73.8%	△9.1%
電気機能線材事業	573,203	25.6%	538,637	26.2%	△6.0%
合計	2,239,469	100.0%	2,053,504	100.0%	△8.3%

(注) 当社では売上高から主要な材料費等を控除した金額を「加工売上高」と称し、経営指標として用いています。

(2) 財政状態に関する説明

(貸借対照表の状況)

総資産は9,892,393千円となり、前事業年度末に比べ224,569千円増加しました。これは原材料及び貯蔵品が110,550千円、有形固定資産が476,777千円増加したことと、現金及び預金が57,381千円、受取手形及び売掛金が332,586千円減少したことなどによるものです。

負債合計は5,927,471千円となり、前事業年度末に比べ299,646千円増加しました。これは短期借入金、1年内返済予定の長期借入金や長期借入金があわせて546,238千円増加したことと、買掛金が146,670千円減少したことなどによるものです。

純資産は3,964,921千円となり、前事業年度末に比べ75,077千円減少しました。これは、当第2四半期累計期間の四半期純利益と剰余金の配当などを反映したものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて57,381千円減少し、119,290千円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、269,886千円の収入(前年同四半期累計期間は261,122千円の収入)となりました。主な収入は税引前四半期純利益96,779千円、減価償却費213,091千円、売上債権の減少額332,586千円であり、主な支出はたな卸資産の増加額121,340千円、仕入債務の減少額146,670千円と法人税等の支払額98,205千円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出729,152千円などにより739,093千円の支出(前年同四半期累計期間は423,413千円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入680,000千円、長期借入金の返済による支出183,762千円、配当金の支払額134,412千円などにより411,825千円の収入(前年同四半期累計期間は248,254千円の収入)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間においては、電子機能材事業において、民生関連でのスマートフォン・タブレット端末向けのコネクタや端子類の旺盛な需要が一段落し、年度末に向けて受注および生産のペースが落ち込む見通しとなっております。一方、電気機能線材事業では主力の建設・電販向けの需要が伸び悩みましたが、予測通りとなっております。

第3四半期以降は、電気機能線材事業はおおむね堅調な見通しですが、電子機能材事業ではスマートフォン向けの受注がペースダウンの予測となっており、パワーエレクトロニクス関連や自動車部品向けは弱含みのまま推移する見込みとなっております。しかしながら、新技術に対応した生産・品質体制の整備に向けた投資を積極的に行い、生産効率と新技術の確立を同時に進めてまいります。

その結果、平成29年3月期通期では売上高、利益とも当初の計画には至らない予測となったため、業績予想の修正をすることといたします。詳細については、平成28年11月1日発表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	176,671	119,290
受取手形及び売掛金	4,398,323	4,065,737
仕掛品	388,051	398,841
原材料及び貯蔵品	339,319	449,869
繰延税金資産	20,643	15,883
その他	43,652	54,037
流動資産合計	5,366,662	5,103,660
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,056,405	1,022,148
機械及び装置(純額)	890,691	1,209,875
土地	1,863,981	1,863,981
建設仮勘定	65,767	211,456
その他(純額)	203,884	250,047
有形固定資産合計	4,080,731	4,557,509
無形固定資産	8,783	15,703
投資その他の資産		
投資有価証券	37,102	30,144
繰延税金資産	161,318	172,178
その他	13,226	13,198
投資その他の資産合計	211,648	215,520
固定資産合計	4,301,162	4,788,733
資産合計	9,667,824	9,892,393

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,436,525	2,289,855
短期借入金	300,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	268,418	395,952
未払法人税等	108,687	46,738
役員賞与引当金	9,200	-
その他	361,578	302,131
流動負債合計	3,484,409	3,384,677
固定負債		
長期借入金	1,596,761	1,965,465
退職給付引当金	474,939	505,614
その他	71,715	71,715
固定負債合計	2,143,415	2,542,794
負債合計	5,627,825	5,927,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	687,749	687,749
資本剰余金	826,871	826,871
利益剰余金	2,523,376	2,453,549
自己株式	△1,247	△1,247
株主資本合計	4,036,749	3,966,922
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,249	△2,000
評価・換算差額等合計	3,249	△2,000
純資産合計	4,039,999	3,964,921
負債純資産合計	9,667,824	9,892,393

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	10,938,122	8,632,833
売上原価	9,824,784	7,874,336
売上総利益	1,113,338	758,496
販売費及び一般管理費	605,710	656,872
営業利益	507,627	101,624
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	738	565
助成金収入	728	144
受取賃貸料	2,154	2,154
スクラップ売却益	1,888	315
その他	2,427	2,137
営業外収益合計	7,941	5,320
営業外費用		
支払利息	4,673	4,230
売上割引	3,035	2,595
賃貸費用	1,074	1,044
その他	-	877
営業外費用合計	8,783	8,747
経常利益	506,785	98,196
特別利益		
固定資産売却益	239	-
特別利益合計	239	-
特別損失		
固定資産除却損	1,309	1,417
特別損失合計	1,309	1,417
税引前四半期純利益	505,716	96,779
法人税、住民税及び事業税	163,023	35,787
法人税等調整額	5,151	△3,774
法人税等合計	168,175	32,012
四半期純利益	337,541	64,767

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	505,716	96,779
減価償却費	159,014	213,091
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,200	△9,200
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	16,597	30,674
受取利息及び受取配当金	△741	△569
支払利息	4,673	4,230
有形固定資産売却損益 (△は益)	△239	-
固定資産除却損	1,309	1,417
売上債権の増減額 (△は増加)	177,046	332,586
たな卸資産の増減額 (△は増加)	37,012	△121,340
仕入債務の増減額 (△は減少)	△228,675	△146,670
その他	△117,722	△29,140
小計	544,789	371,858
利息及び配当金の受取額	741	569
利息の支払額	△4,752	△4,337
法人税等の支払額	△279,655	△98,205
営業活動によるキャッシュ・フロー	261,122	269,886
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△654	△616
有形固定資産の取得による支出	△422,994	△729,152
有形固定資産の売却による収入	240	-
無形固定資産の取得による支出	△600	△8,588
その他	595	△737
投資活動によるキャッシュ・フロー	△423,413	△739,093
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	50,000
長期借入れによる収入	600,000	680,000
長期借入金の返済による支出	△210,338	△183,762
自己株式の取得による支出	△192	-
配当金の支払額	△141,214	△134,412
財務活動によるキャッシュ・フロー	248,254	411,825
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	85,964	△57,381
現金及び現金同等物の期首残高	261,280	176,671
現金及び現金同等物の四半期末残高	347,244	119,290

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機能材事業	電気機能線材事業	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3,298,008	7,640,114	10,938,122
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,298,008	7,640,114	10,938,122
セグメント利益	392,477	114,308	506,785

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機能材事業	電気機能線材事業	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3,037,684	5,595,149	8,632,833
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,037,684	5,595,149	8,632,833
セグメント利益	46,553	51,643	98,196

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。